

## 新技術等登録申請用紙

受付 No.※1	MA270209-59	申請年月日※1	平成27年2月9日			
開発者等	会社名	株式会社ウッドプラスチックテクノロジー		担当部署	技術開発部	
	住所	鳥取県倉吉市谷605番地33		担当者	浜田尚孝	
	TEL	0858-24-6650		FAX	0858-24-6651	
	E-mail	<a href="mailto:hamada@wpt.co.jp">hamada@wpt.co.jp</a>		URL:	<a href="http://www.wpt.co.jp">http://www.wpt.co.jp</a>	
	共同開発の会社名			開発年月	2014年8月	
新技術名称	ウッドプラスチック製敷き板Wボード					
概要	<p>木質バイオマスとプラスチックの複合材料である環境にやさしい素材ウッドプラスチックを原材料とする養生用敷き板である。</p> <p>敷き鉄板は、重量が重いため、取扱いが危険であり、また、運搬費用が高く、二酸化炭素排出量が多い。Wボードは、重量39kgであり、同サイズ(4×8)の敷き鉄板の510kgに比べて、軽量である。このため、工事現場での騒音が軽減でき、一度にたくさん運べるため運搬時の燃料消費が少なく、コストダウン、環境負荷低減の効果がある。</p> <p>限られた化石資源であるプラスチックを再生可能資源である木質バイオマスで代替することで、使用量を節約し、二酸化炭素排出量も削減している。</p>					
分類 (該当欄に○)	工法	施工機械	材料	製品		
				○		
新技術等の対象条件 (該当欄に○)	ア 県内に存在する本支店や製造工場により開発されたもの				○	
	イ 主として県内産資材を使用し、県内に存在する製造工場により生産されたもの					
活用効果	比較する従来技術		敷き鉄板			
項目	活用の効果			比較の根拠		
機能性	向上	同程度	低下	地面の養生用には同じように使用できる		
耐久性	向上	同程度	低下	プラスチックの紫外線による劣化があるため、敷き鉄板に比べると耐久性は低い		
施工性	向上	同程度	低下	軽量であり、人力で施工できる		
安全性	向上	同程度	低下	軽量であるため、重大な落下事故が起きにくい		
施工時の自然環境への影響	低下	同程度	増加	木材を利用しており、二酸化炭素排出量を削減。また、軽量であるため、運搬時の負荷も低減。		
コスト削減	向上(50%)	同程度	低下(%)	運搬費用が大きく削減できる		
工程	向上(%)	同程度	増加(%)			
施工実績	県内公共工事 3件			県外公共工事 件		
<small>施工実績が多い場合は直近の工事3件を記載し、その他は別添(任意様式)とすること。なお、施工実績は、申請時点で完了している工事を対象とすること。</small>	発注者名	工事名	工期	発注者名	工事名	工期
	鳥取県	鳥取西道路埋蔵文化財調査松原外排土運搬工事	2014年11月			
	鳥取県	県道若葉台東町線(江崎工区)歩道設置工事	2014年10月			
	鳥取県	県道鳥取国府岩美線(十五峠工区)法面対策工	2014年10月			
国関係機関による技術審査証明や評価※2	制度名	-		証明機関	-	
	名称及び番号	-		証明年月日	-	
その他機関による証明や評価	制度名	-		証明機関	-	
	名称及び番号	-		証明年月日	-	
特許、実用新案	名称及び特許番号	-		取得年月日	-	
NETIS登録	名称及び登録番号	-		登録年月日	-	

<b>特 徴</b>			
<b>■長 所</b> ・軽量であるため、人力で施工できること ・軽量であるため、運搬時に一度にたくさん運べること ・木材を利用し、環境負荷を低減していること			
<b>■短 所</b> ・敷き鉄板と比べると、強度が弱いため、アウトリガー用敷き板としては使用できない。			
<b>適用条件</b>			
<b>■適用可能な範囲</b> ・表層地盤N値2相当以上の平らな地面の養生 ・幅員:1,219mm以上、長さ:2,438mm以上 ・特に、敷き鉄板を敷設するための重機が入れない現場、敷き鉄板により傷つきやすい芝生やタイルなどの下地の養生 ・短期間で設置、撤去が必要な現場、仮設道路など			
<b>■適用できない範囲</b> ・表層地盤N値2相当未満の軟弱な地盤や崩落の恐れのある傾斜地での使用。 ・幅員1,219mm未満、長さ:2,438mm未満 ・クレーンのアウトリガー用敷き板としての使用 ・幅広な側溝への橋掛けなど敷き板の下に空間がある条件での使用。			
<b>留意事項</b>			
<b>■設計時</b> ・本製品を使用する際は、適用箇所の地耐力がN値2相当以上確保できているか確認を行う。			
<b>■施工時</b> ・浮石等は除去し、平らに敷きならした後で、敷設する。 ・人の手で取り扱う際は、作業用手袋を着用する。			
<b>■維持管理時</b> ・敷き板の上で、車両(特に鉄製キャタピラー)を旋回すると、敷き板表面の傷みが早くなる。 ・敷き鉄板と異なり自重が軽いため、強風で飛ぶ可能性がある。 ・製品上での火気使用は禁止。			
<b>従来技術との施工単価の比較</b>			
比較条件:養生面積 230㎡、敷板枚数 80枚(1,219mm×2,438mm)、期間 30日 ・新技術(Wボード) 基本料1,000円×80枚+リース料1,200円×80枚+運搬費25,000円×1台=201,000円 ・従来技術(敷き鉄板) 基本料500円×80枚+リース料1,080円×80枚+運搬費125,000円×11台=401,400円			
施工歩掛 <input type="checkbox"/> 県土木工事標準積算基準書 <input type="checkbox"/> その他公的機関が制定した基準 (基準名: ) <input type="checkbox"/> 協会歩掛(協会名: ) <input type="checkbox"/> カタログ歩掛、 <b>■無</b>	材料単価 <input type="checkbox"/> 掲載あり ( <input type="checkbox"/> 建設物価、 <input type="checkbox"/> 積算資料) <b>■無</b>		
<b>残された課題と今後の開発計画</b>			
現在は、4×8サイズのみだが、サイズを拡充し、ユーザーニーズに応じていく。			
<b>添付資料</b>			
資料-1 製品パンフレット 資料-2 コスト比較 資料-3 使用実績表 資料-4 工事写真	資料-5 試験分析等成績書(圧縮、曲げ試験) 資料-6 会社概要		

※1 は記入しないでください。

※2 新技術情報提供システム(NETIS)の場合、事後評価を受けたものが対象となります(登録のみは対象外)。

※ 記入欄が不足する場合は、別紙として添付してください。